

2026年3月期 決算発表(連結)について

(1) 2026年3月期 連結決算について

【建設・梱包向セグメント】

新設住宅着工が低迷する中、売上高は前年同期比4%の減収となりましたが、プロダクトミックス最適化や固定費削減により、セグメント営業利益はほぼ横ばいとなりました。

【電気・輸送機器向セグメント】

主要な販売先の生産は比較的順調に推移しました。しかし、自動車業界の一部における生産調整の影響があり、売上高は前年同期比3%減、セグメント営業利益は前年同期比11.4%減となりました。

当社グループ連結業績(通期)は、以下の通りです。

	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績	前年対比
売上高(百万円)	5,583	5,374	-3.7%
営業利益(百万円)	239	235	-1.4%
経常利益(百万円)	218	223	+2.2%
純利益(百万円)	142	147	+3.7%

(2) 今後の見通し及び2027年3月期 連結業績予想(通期)について

【建設・梱包向セグメント】

新設住宅着工戸数の減少傾向が続くと見込んでおりますが、非住宅中高層建築物への木材活用が促進されており、高機能が求められる特殊釘への需要は伸びていくものと期待しております。

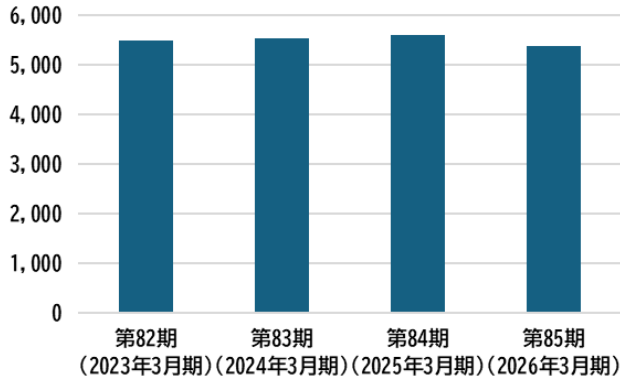
【電気・輸送機器向セグメント】

環境問題や原油調達リスクの顕在化を背景にハイブリッド車を含む電動自動車の需要は堅調に推移すると思われ、車体軽量化に必要となる樹脂・アルミ部品用の特殊締結品の需要が見込まれます。

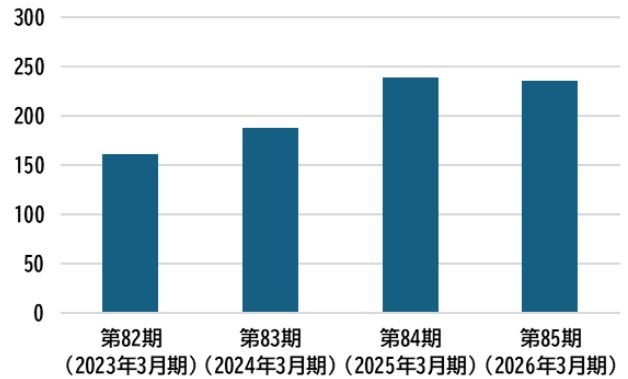
2027年3月期の当社グループ連結業績予想(通期)は、次の通りです。

	2027年3月期 通期予想
売上高(百万円)	5,500
営業利益(百万円)	215
経常利益(百万円)	200
純利益(百万円)	135

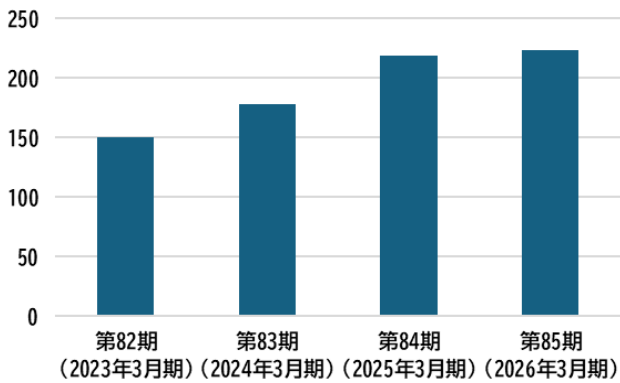
◆売上高(連結)(単位：百万円)



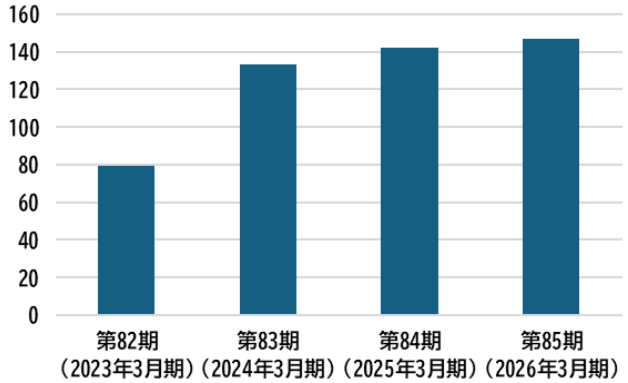
◆営業利益(連結)(単位：百万円)



◆経常利益(連結)(単位：百万円)



◆純利益(連結)(単位：百万円)



◆ROE(連結)(単位：%)

